

令和6年度彩の国あんしんセーフティネット事業

担当相談員フォローアップ研修

実施日	令和6年10月9日(水)
参加者	32名
説明者・ ロールプレイ実施者	事務局 社会貢献支援員4名(熊木氏、 久保氏、小川氏、出雲氏)



社会貢献支援員によるロールプレイの様子

内容
<p>彩の国あんしんセーフティネット事業の相談支援について未経験又は経験が少ない相談員を主な対象として、実際の相談支援での対応や押さえるべきポイントについて演習を通じて理解を深めることを目的とする。</p> <p>1 事務局説明</p> <p>セーフティネット事業の流れ</p> <p>(1)相談支援全体の流れ、相談員の役割</p> <p>(2)訪問前の事前準備と訪問・面談対応</p> <p>(3)支援策の検討・橋渡し</p> <p>(4)現物給付の流れ</p> <p>(5)見守りから終結、再支援への対応</p> <p>2 ワーク</p> <p>(1)社協からの初回連絡を想定したワーク</p> <p>社会貢献支援員によるロールプレイ「社協から初回連絡」</p> <p>(2)初回訪問面談を想定したワーク</p> <p>社会貢献支援員によるロールプレイ「本人宅へ訪問」</p> <p>受講生によるロールプレイ「相談者へのセーフティネット事業の説明」</p>
参加者の声
<ul style="list-style-type: none">・ロールプレイを見ることにより、具体的にイメージができて、とてもよかった。・初めてだったので流れがわかりやすかった。初回電話メモ等(「相談の手引き(第5版)」P29)など、アセスメント時に活用したい。・実際に自分の言葉で説明することで、制度の理解が不足している部分があった。支援員のロールプレイングがとても参考になった。・相談者にわかりやすく説明するために自身がセーフティネットの理解をしっかりとすること、相手に不安をあたえることなく説明出来るようにしたいと思った。また相談者との認識の違いがないよう丁寧に説明したい。